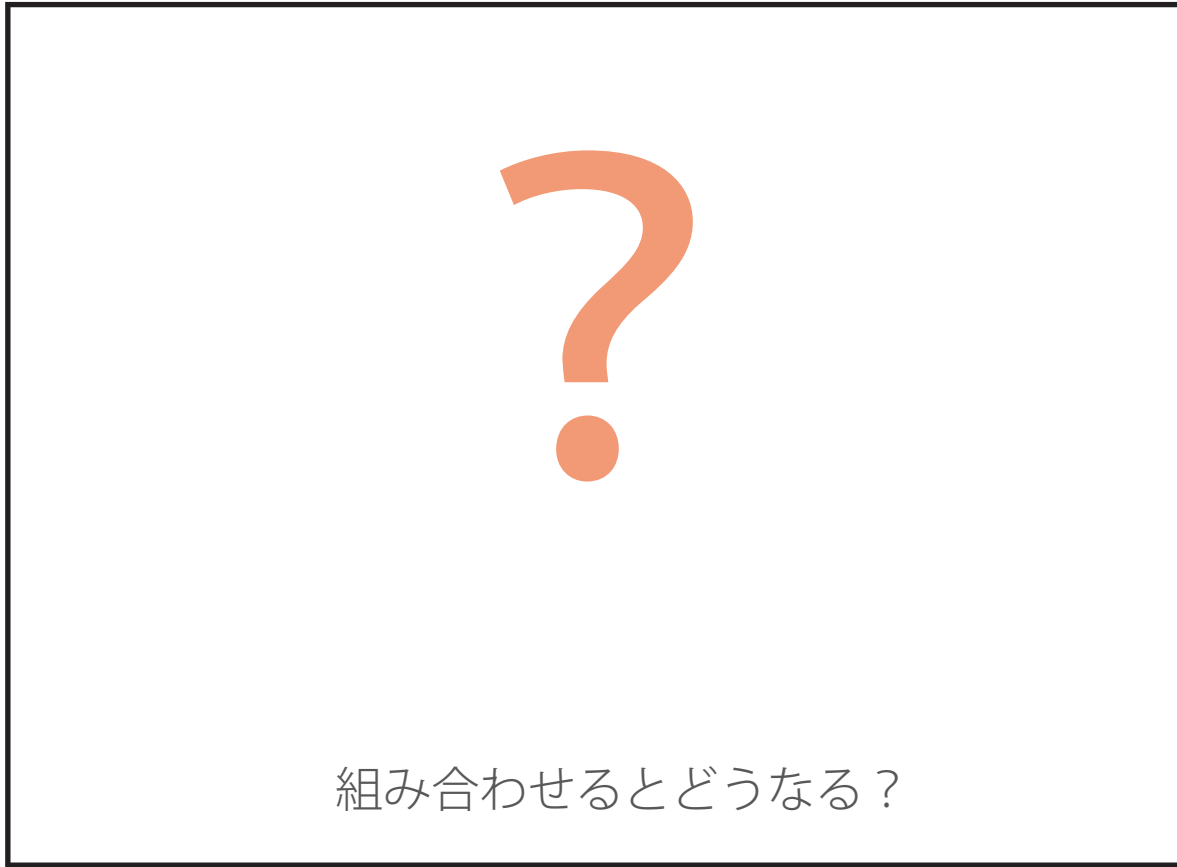
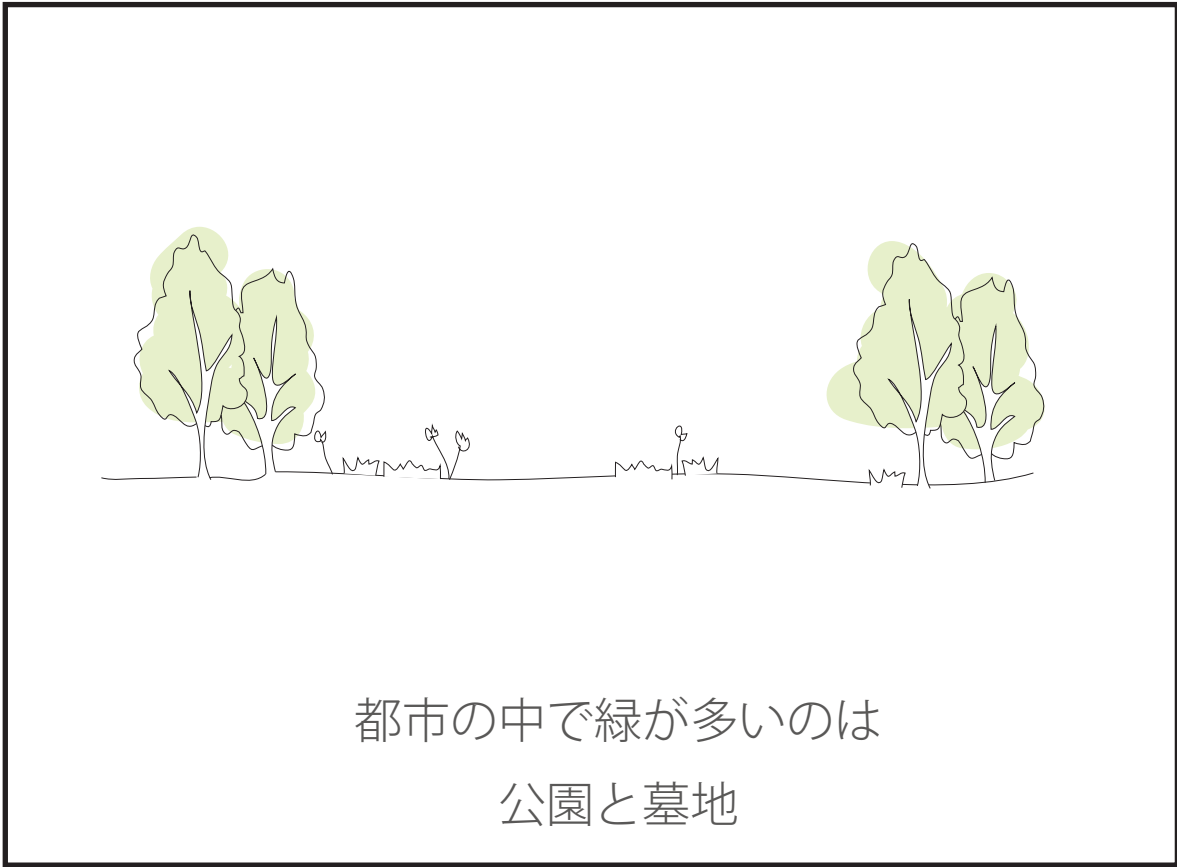
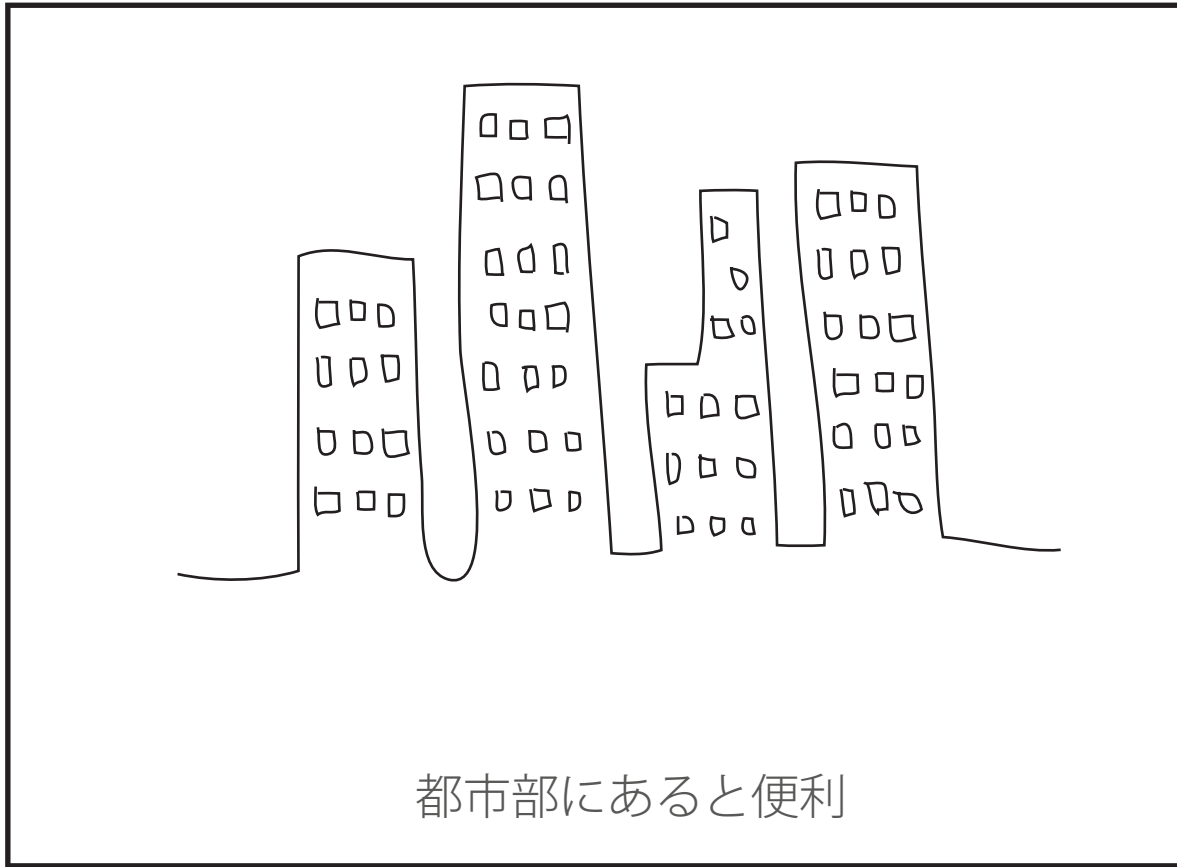
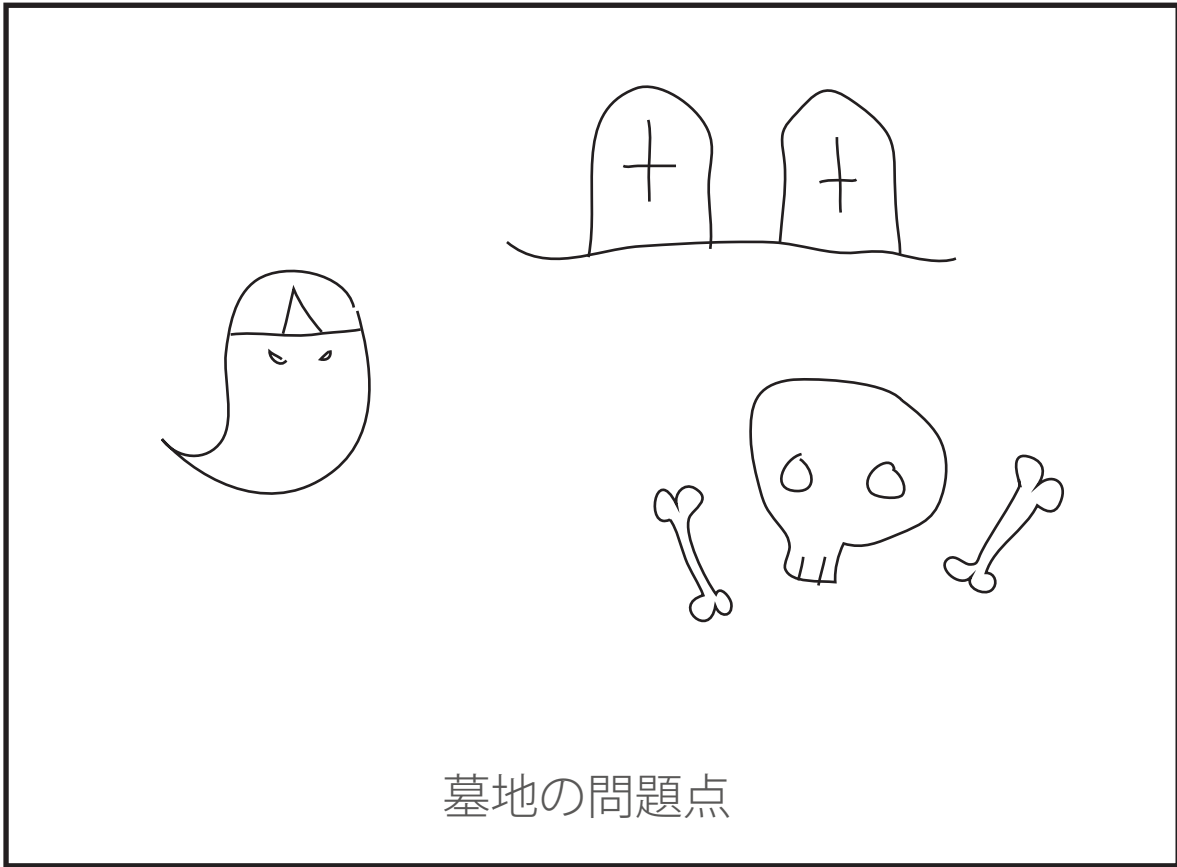


ながれる

11100366 販売済

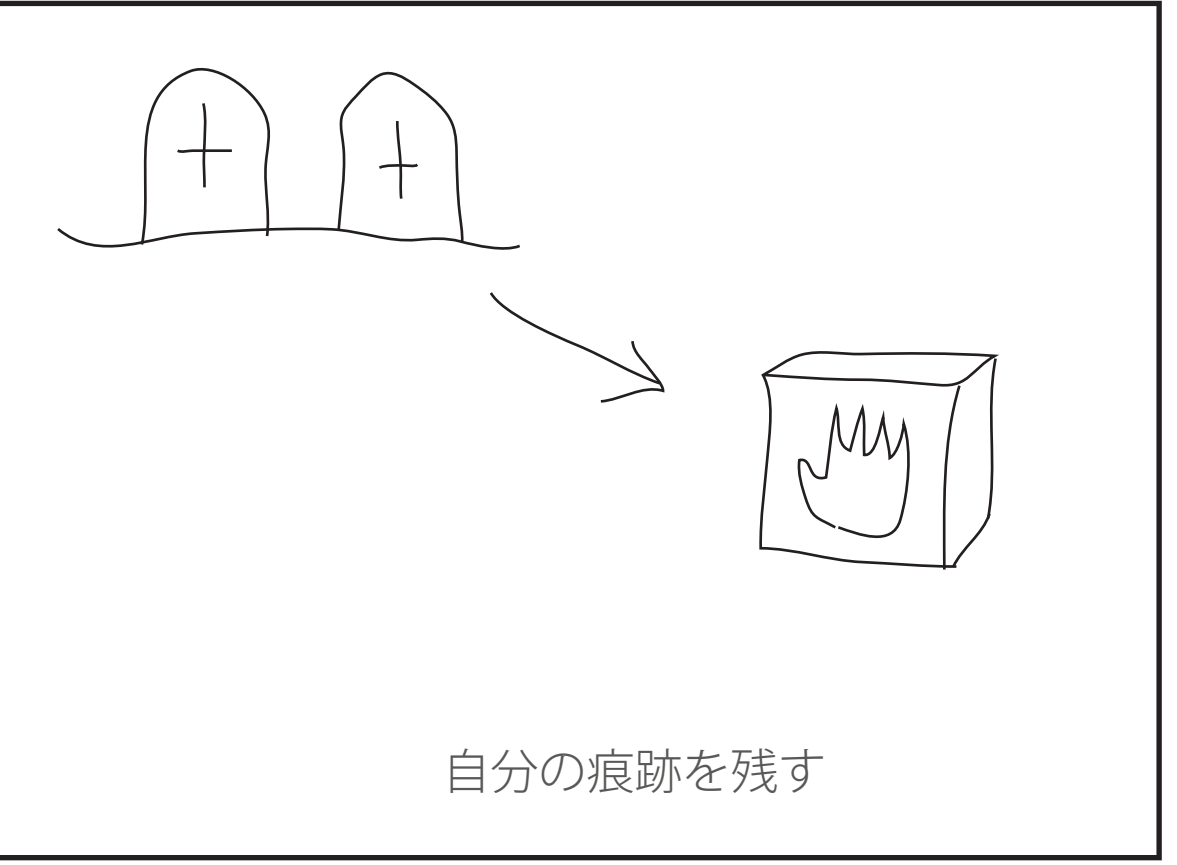
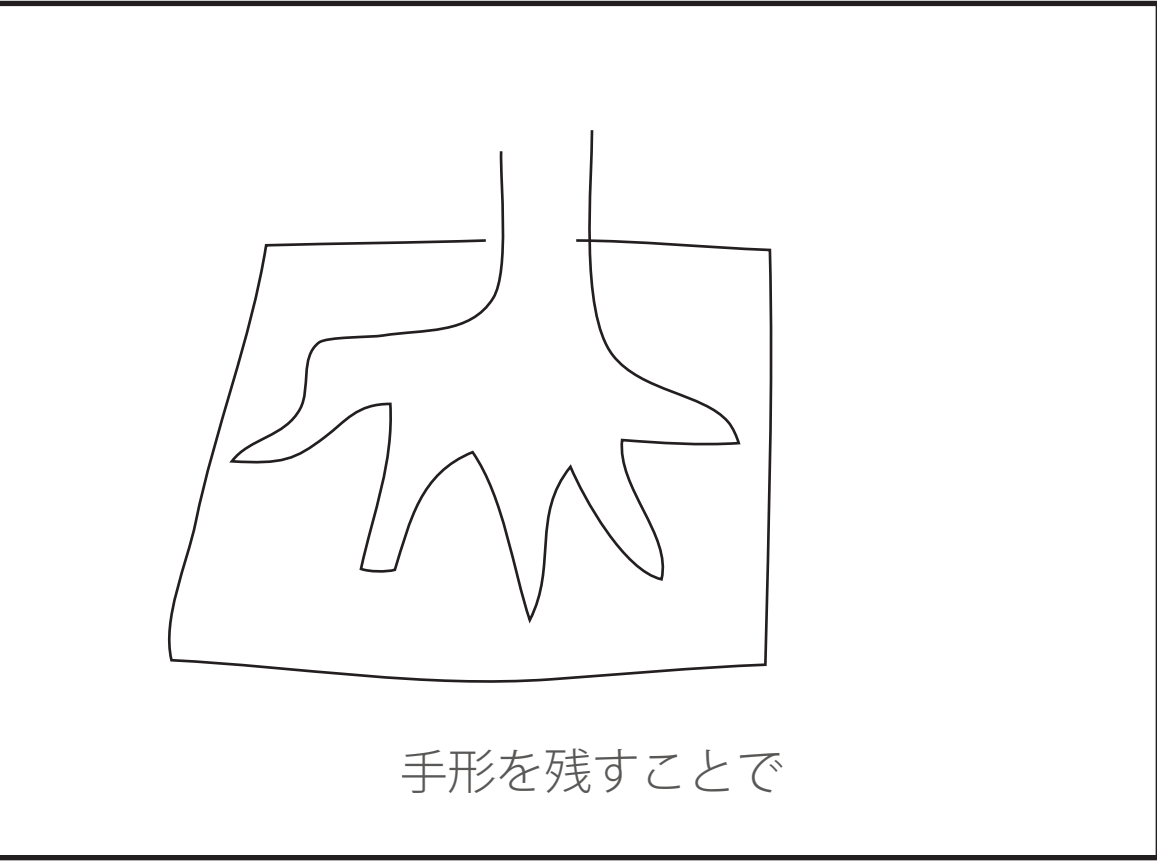
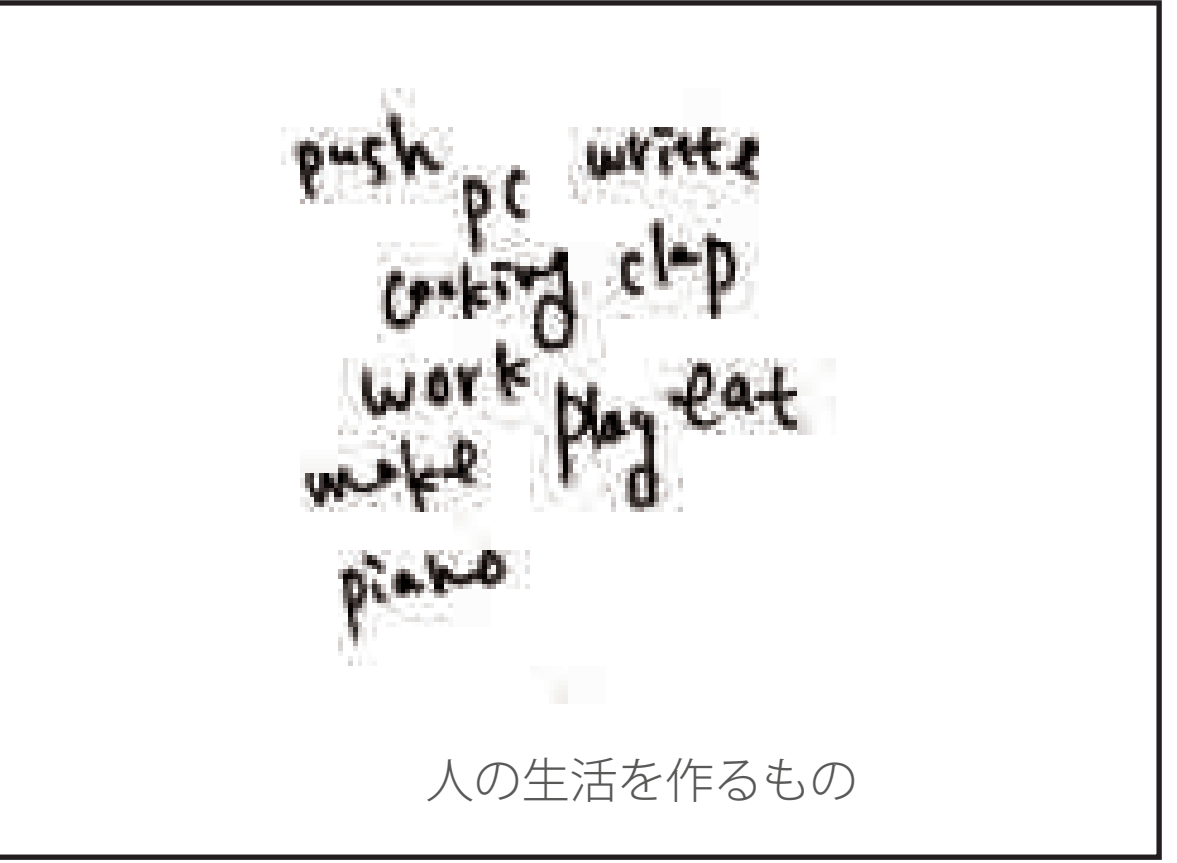
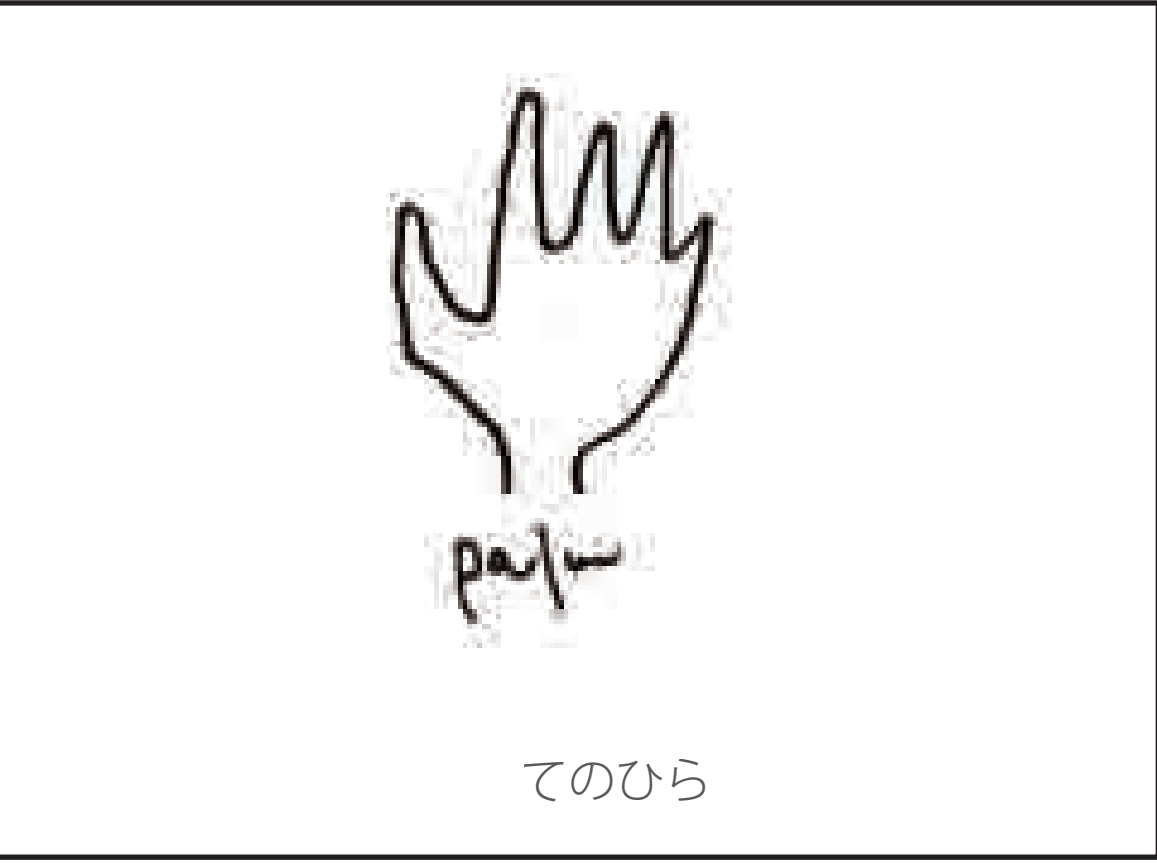
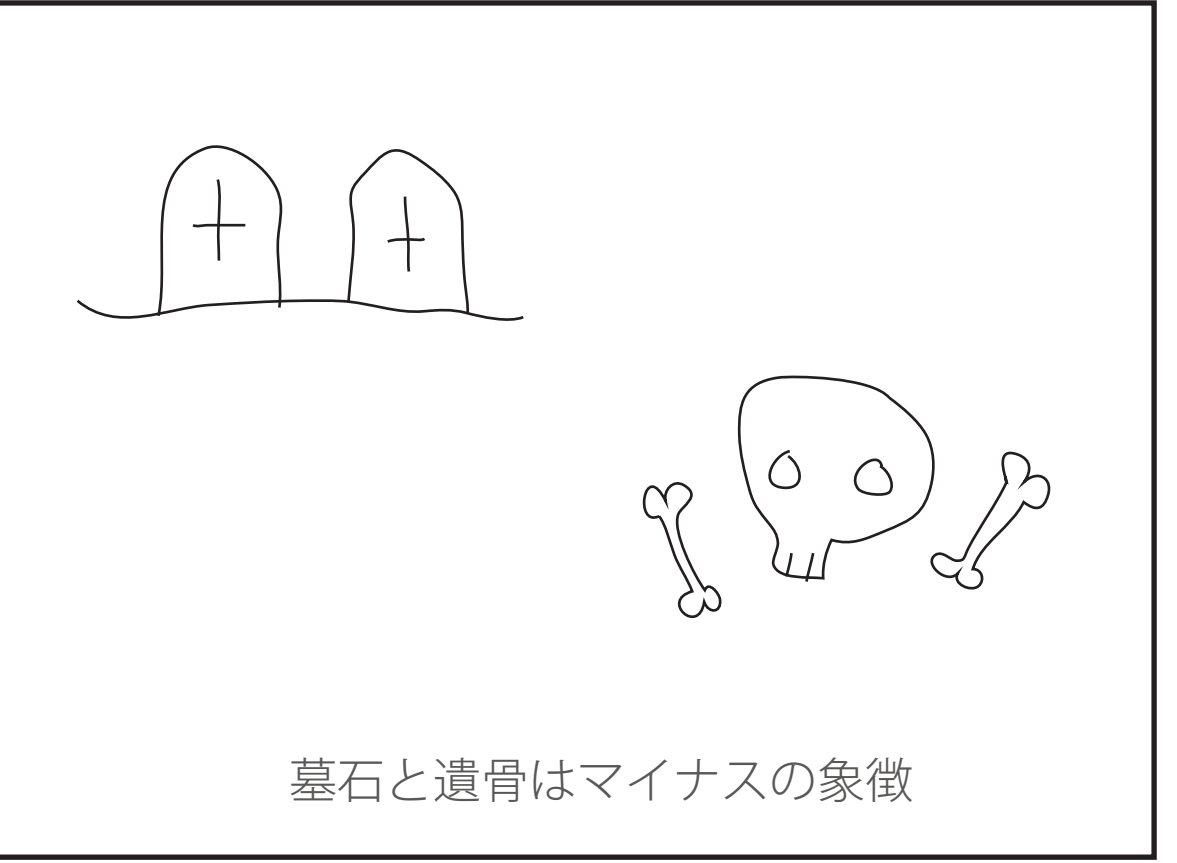


なにを作るの？



墓地は人から好かれるものではない。新たに墓地建設を行おうとすれば反対運動が起きるが、墓地の不足や都市に住んで地方の墓参りのできない人などの問題がある。なぜ墓地が嫌悪されるのか。自分の知らない人間の遺骨や、墓地の持つマイナスイメージが挙げられる。しかし例えば青山霊園など、都市部に多くの緑をもたらす墓地があり、これは人に好まれる公園と墓地との共通点である。嫌われるものと好まれるもの、全く違う両者を組み合わせることで、都市部における新たな墓地像を生む事は出来ないのだろうか。

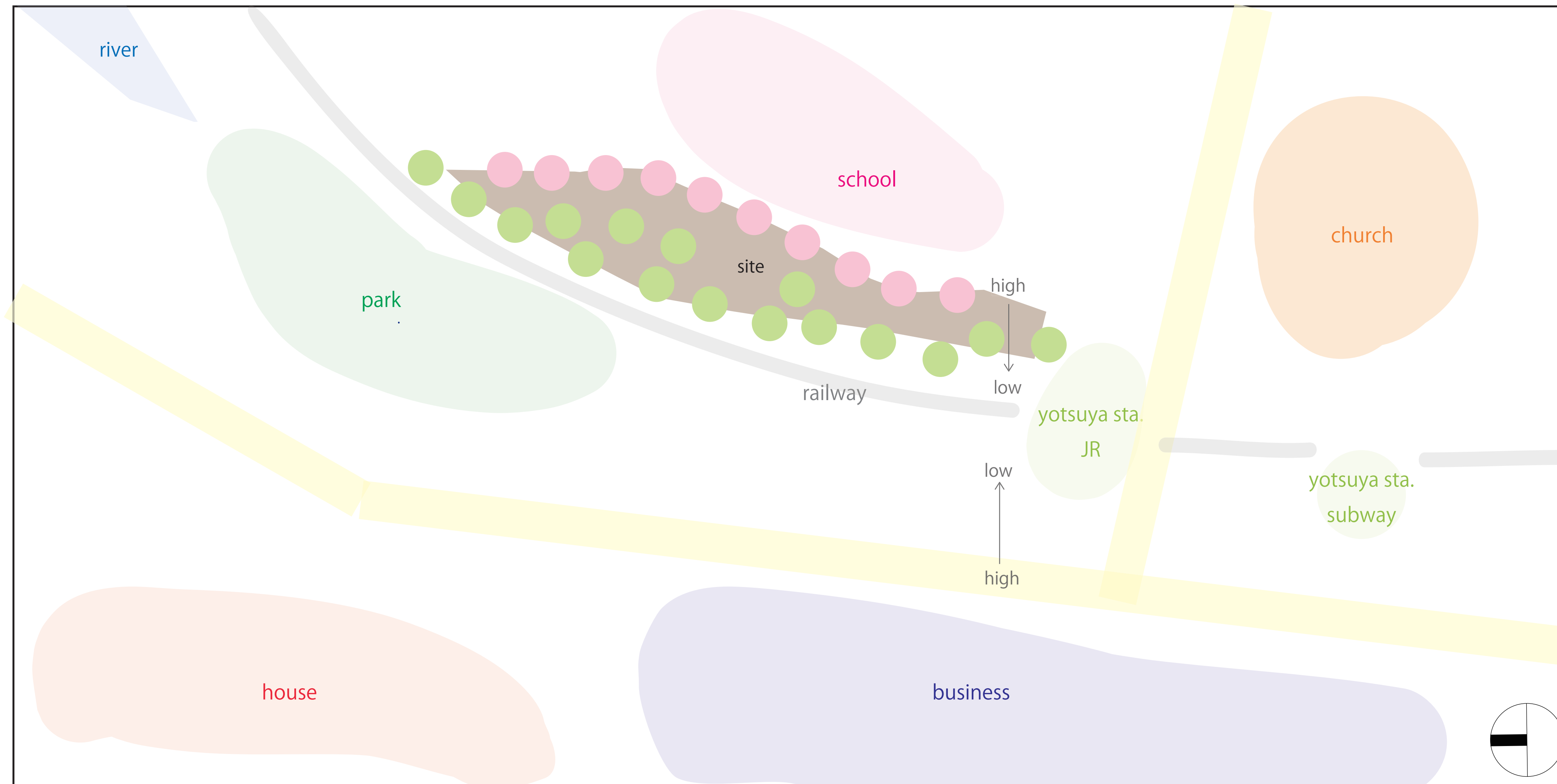
どんな場所になるの？



墓地において墓石と遺骨は、墓地の持つマイナスイメージの象徴である。人の体にはてのひらがある。てのひらは、私たちの生産活動の全てを司っている。なぜなら、朝起きて顔を洗うのは手であり、食事をするのも、文字を書くのも、全てがてのひらで行われるからである。てのひらは個人の生活や年齢などを受けて違いが出るし、指紋に同じ物は1つもない。てのひらは個人の象徴として、もっともシンプルで簡単な器官と言える。そんなてのひらをどのうにかして残す事は個人の痕跡を残す行為につながり、墓石と遺骨というマイナスイメージから抜け出すことになると考えた。

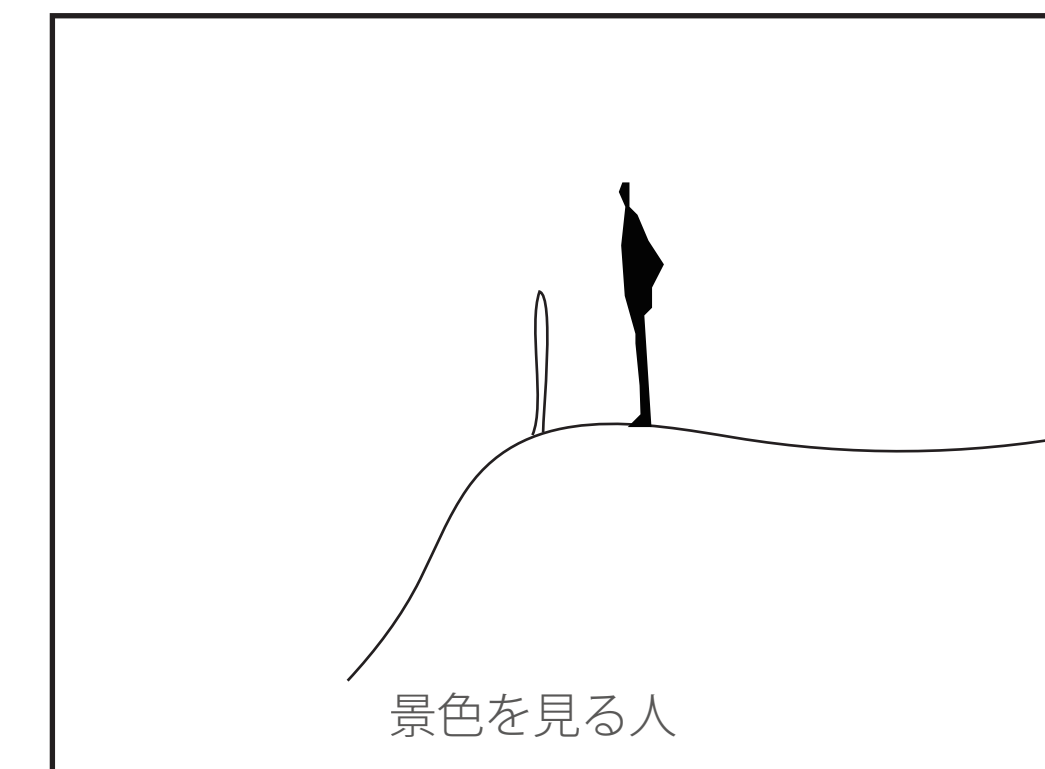
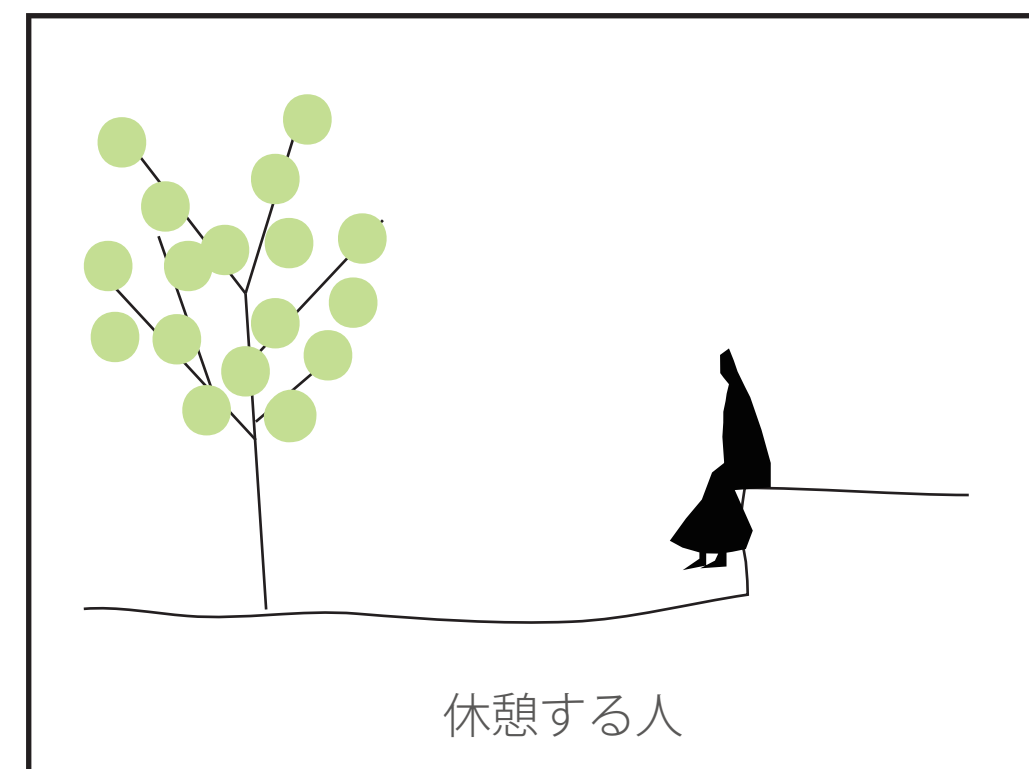
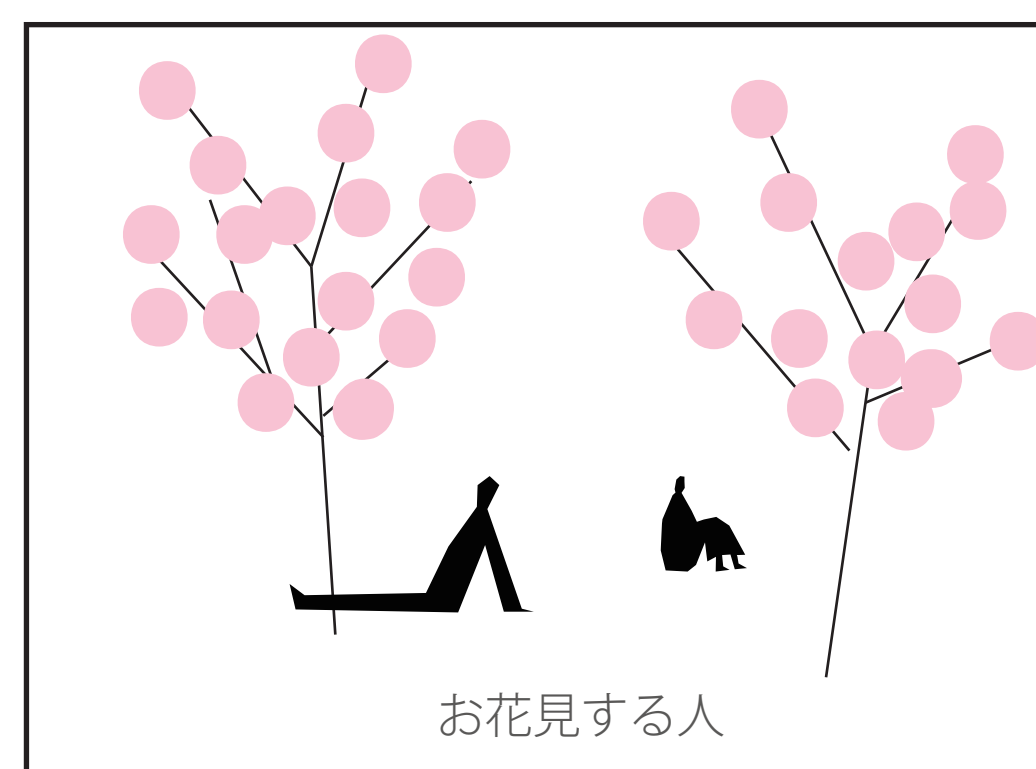
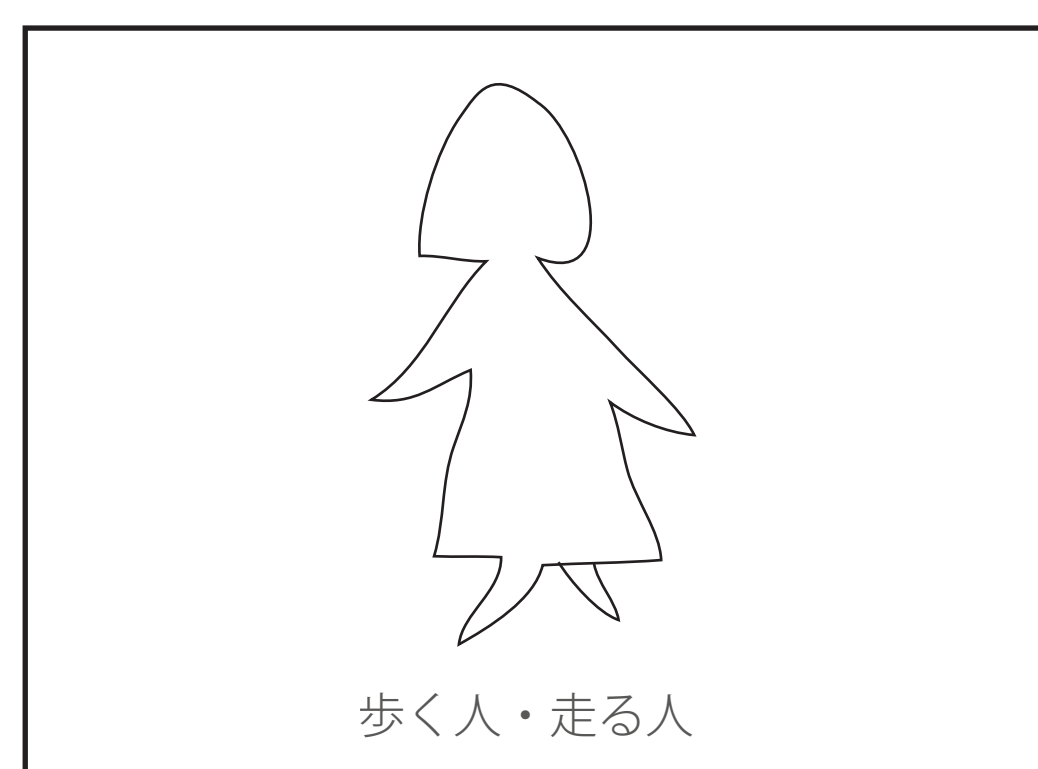


## 敷地は？



四ッ谷駅周辺は様々な要素が混じっており、密でも疎でもないコミュニティが形成されている。あまり密なコミュニティだと拒絶されるものも、この場所なら受け入れられやすいと考えた。

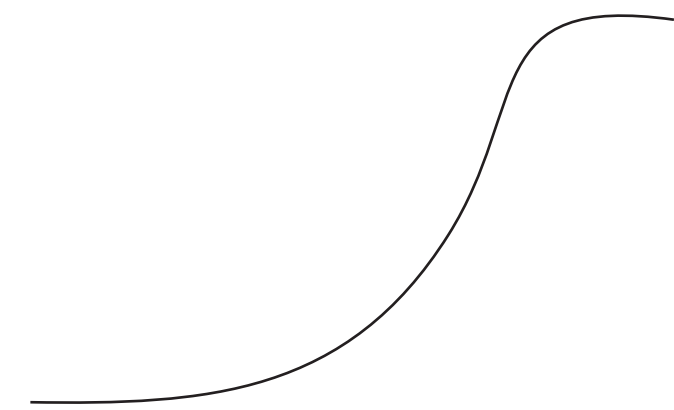
## 敷地の現状は？



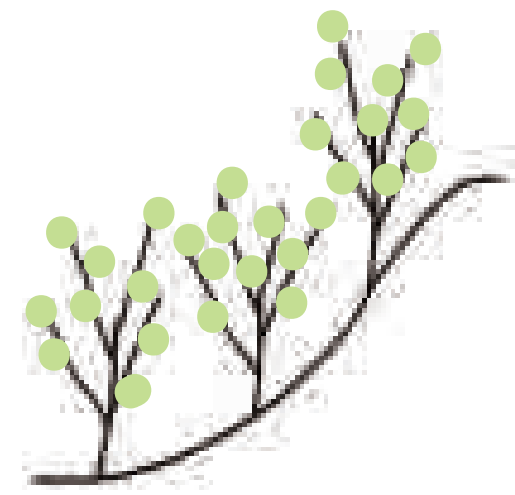
敷地には桜と松の木が生えおり、現在は公園として用いられている。そこには、歩いたり走ったりする人、春にはお花見をする人、休憩をする人、景色を見る人の4つの要素が存在している。



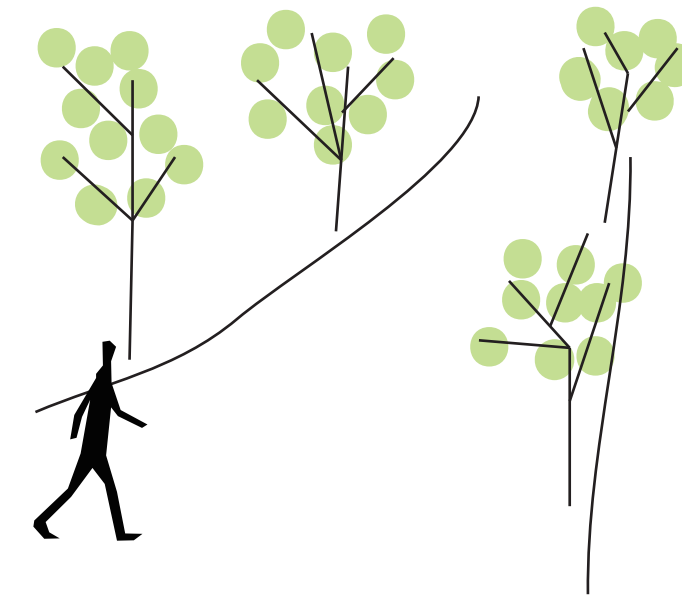
## かたちについて



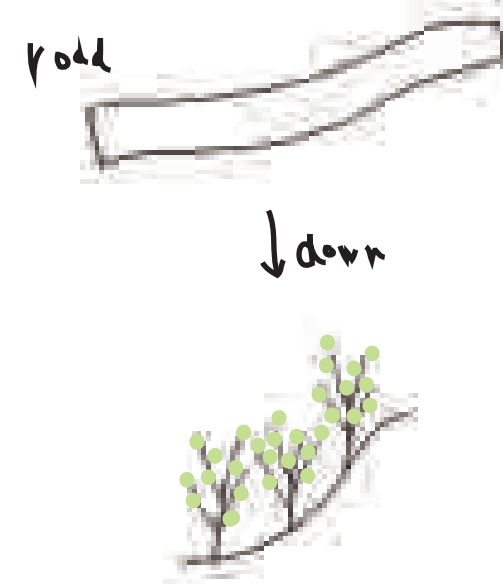
敷地は急勾配



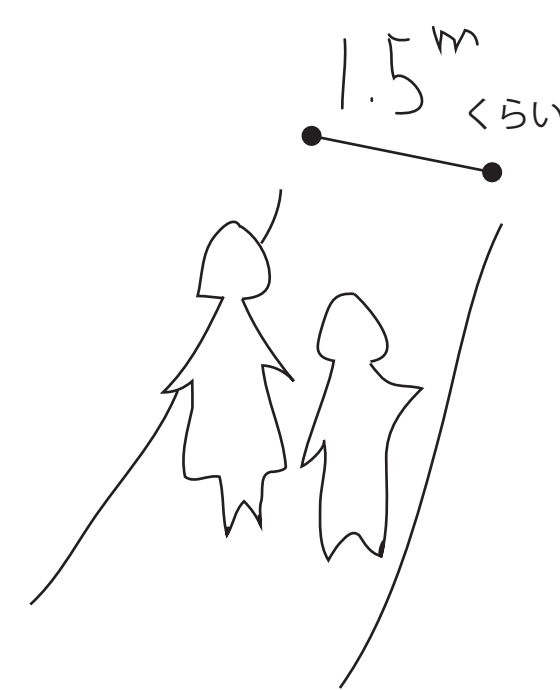
木がたくさん生えている



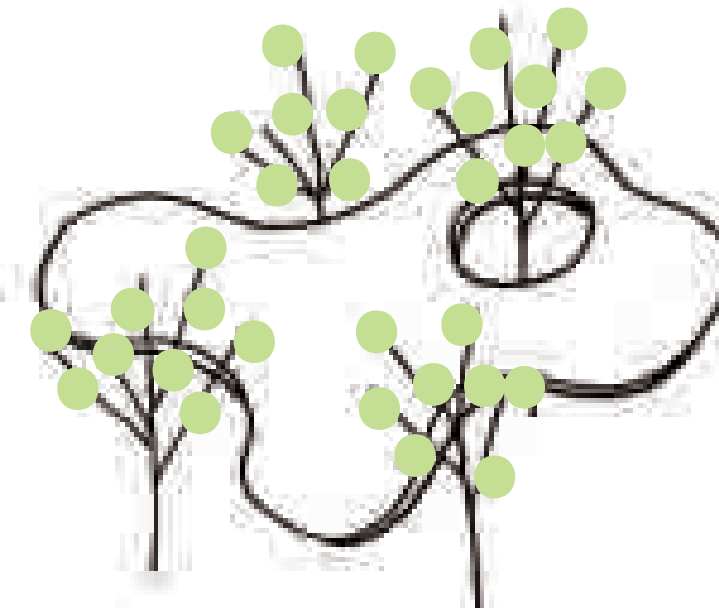
公園だけれど  
道のような使われ方



道を敷地全体にかぶせると  
木が邪魔になる



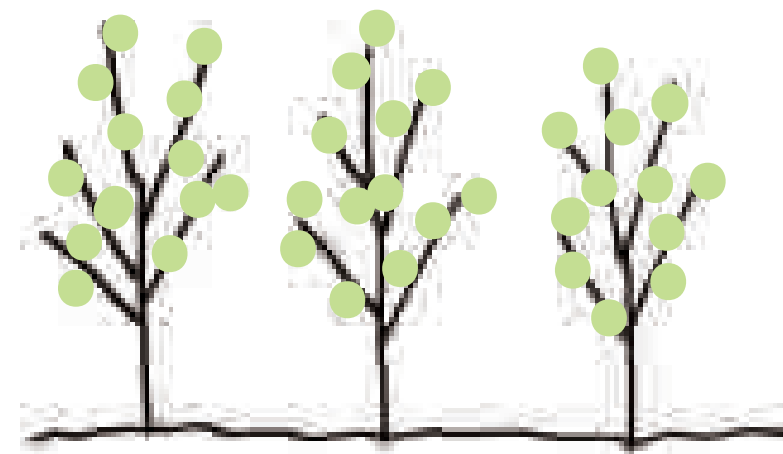
木を避けつつ、道幅約 1.5m を保つ



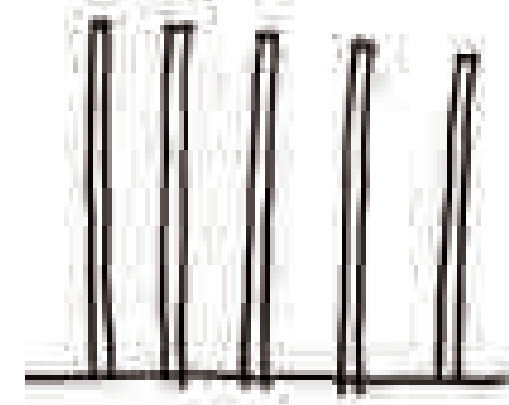
こんなかたちになる

敷地は急勾配になっている部分が多い。その頂点に公園があり、細長い形状のためか道の延長のような使われ方をしている。その道の機能と、敷地に生えている植栽（桜、松）を出来る限り残しながら公園という機能の中に新たな墓地としての機能を埋め込むためのかたちを考えた。それは、木々の間を縫っていく第2の道である。

## はしらについて



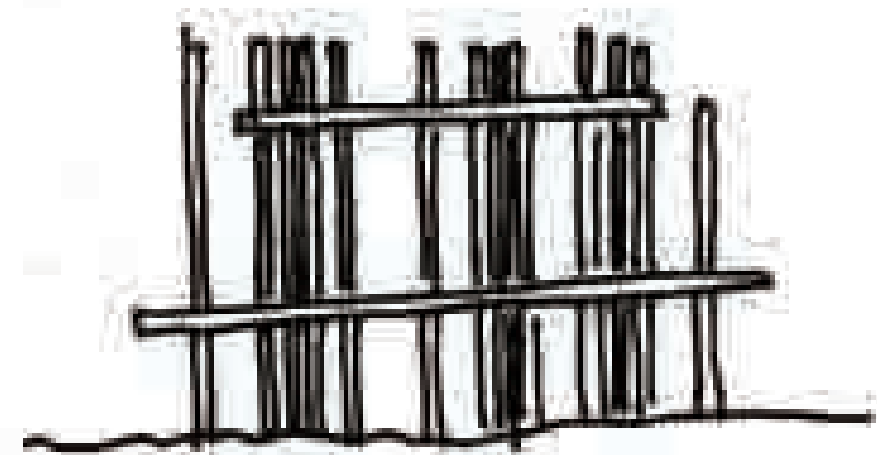
木の持つ垂直性



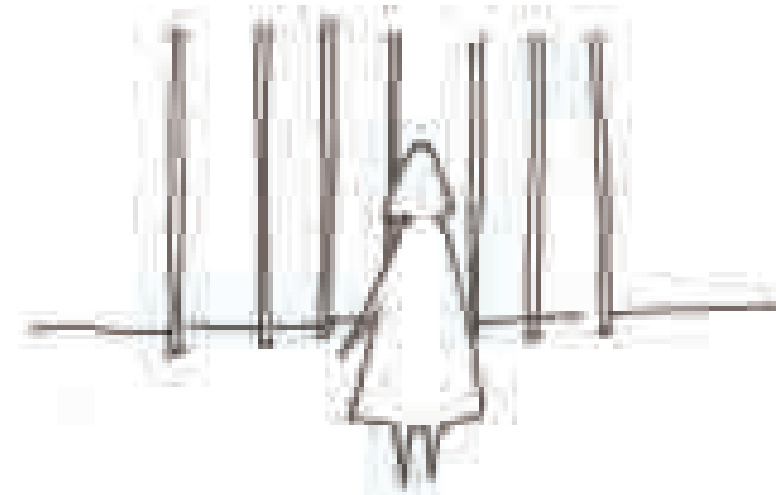
柱に似てる



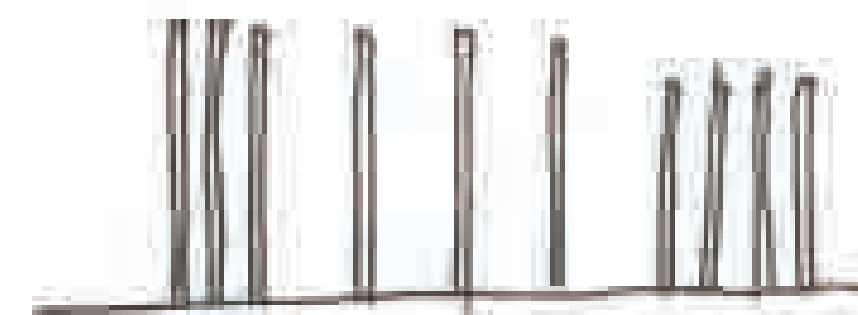
木の生え方が  
密と疎になっている



細い柱を建物の  
周りにぐるりとまわす



近くからでは分からないけれど



木の密疎のルールと同じ

敷地に自生している木は、生えているだけで垂直性を持っている。その垂直性は、建築における柱に似ていると考えた。木はただランダムに生えているのではなく、密と疎のバランスを持って生えていることがわかった。そこで細い柱を建物のスラブ周囲に置いていくことで、近くからでは分からないが、木の生え方で穴を開けているので、遠くから見たときに木の密と疎のルールに基づいた柱の見え方となる。





Hand tool



Hand tool



Hand tool

Hand tool

Hand tool

Hand tool



Hand tool







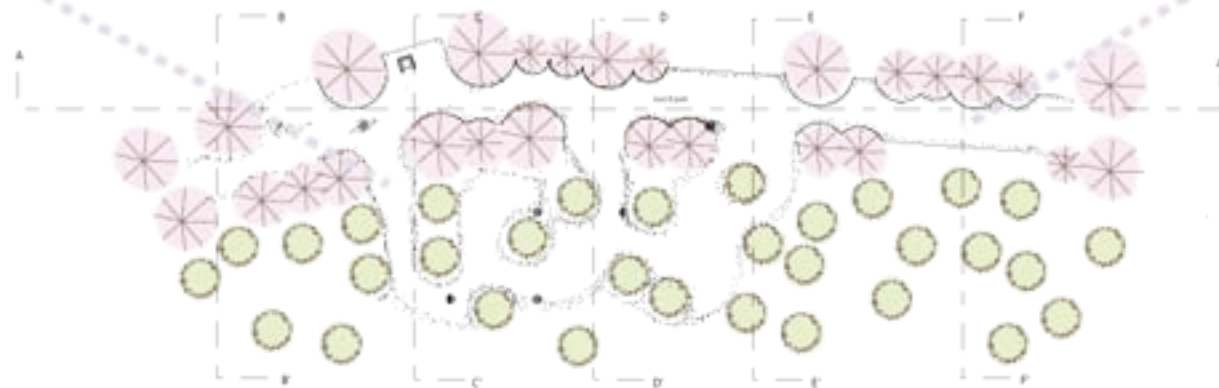
flower viewing

桜の花がよく見える場所



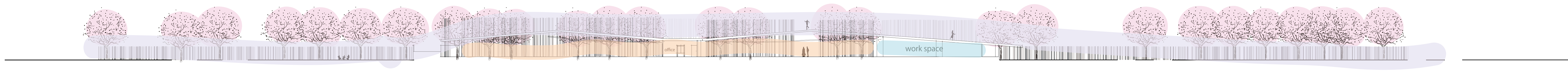
walk

通過出来る場所

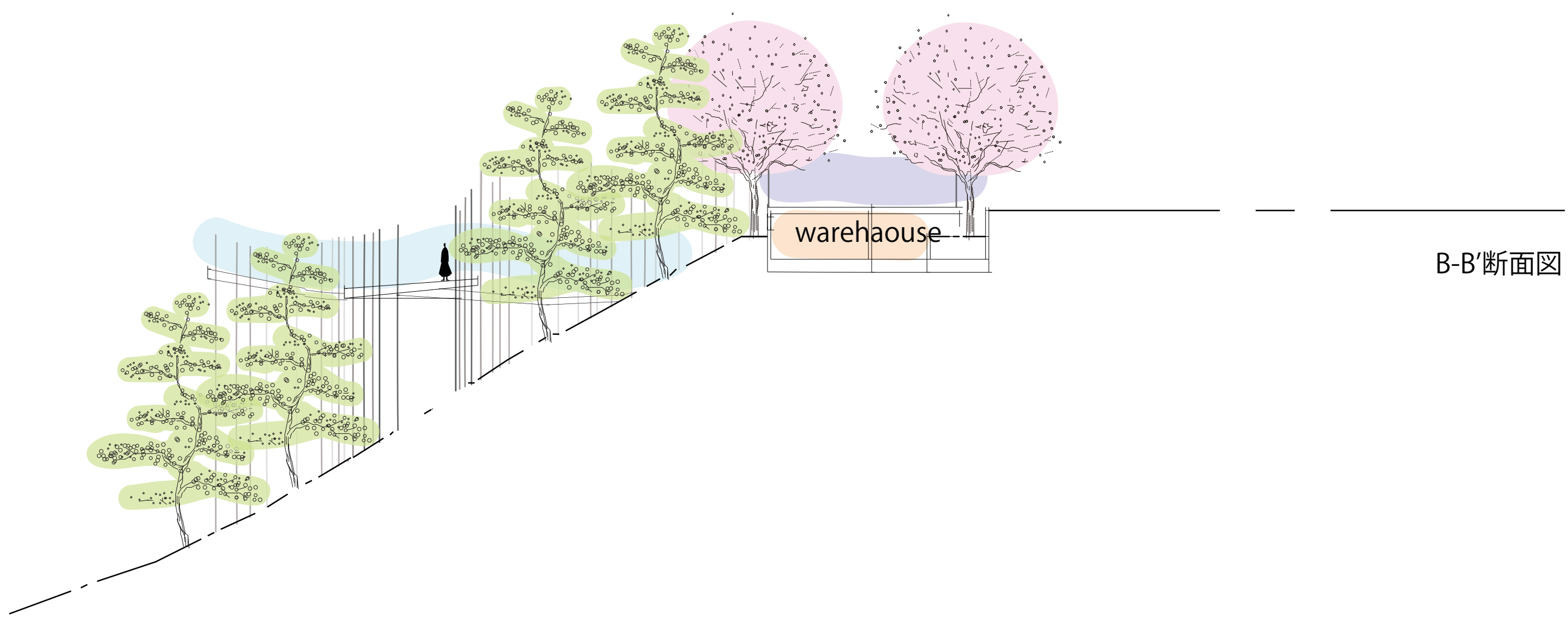


GL+5000平面図

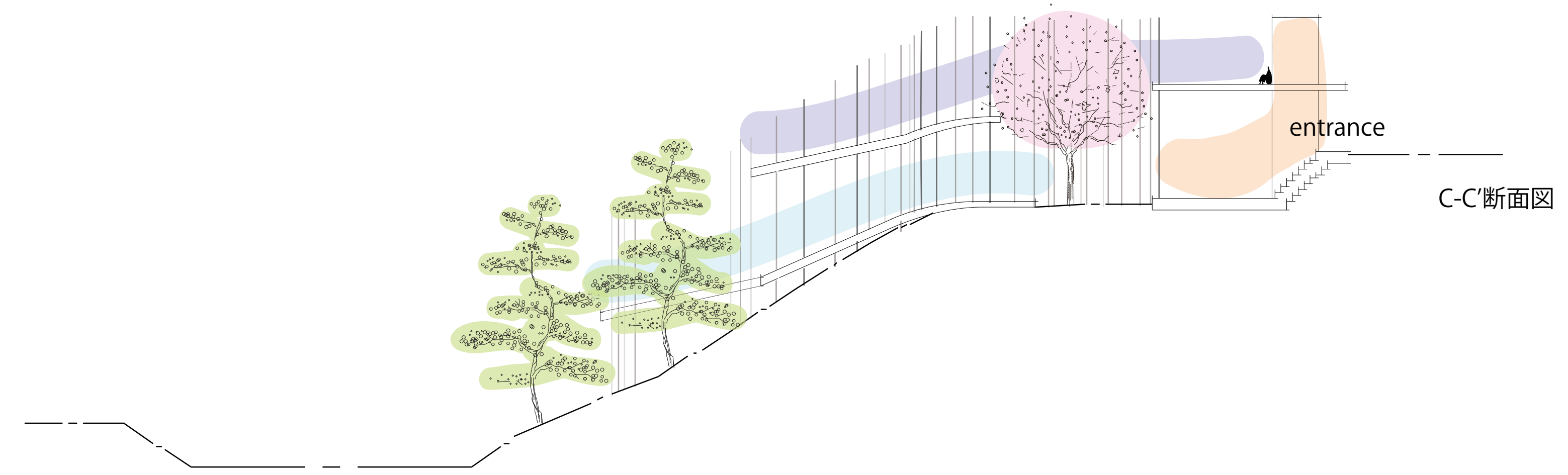




A-A'断面图

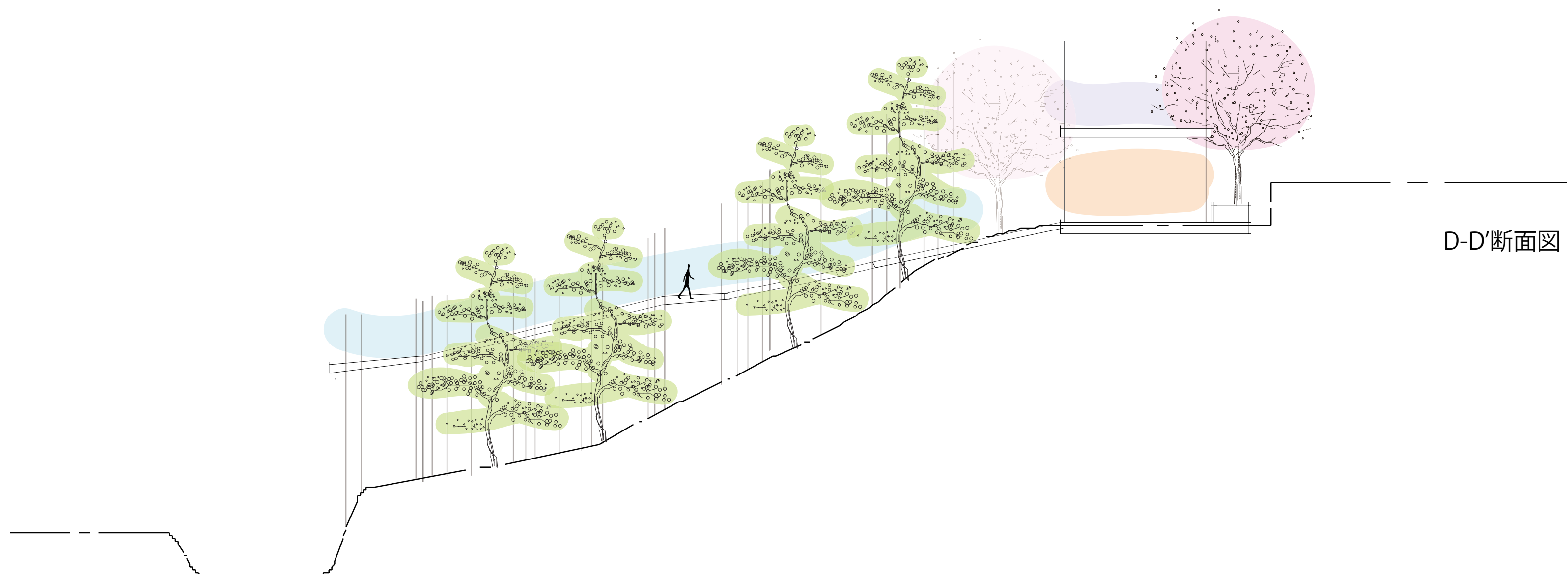


B-B'断面图



C-C'断面图





D-D'断面图



E-E'断面图

